

授業概要

本講義ではメディアやその文化のありようについて、特に「人形」をキーワードに学びます。ここで言うメディアとは、新聞やテレビやラジオ、インターネットはもちろん、演劇や映画、絵画、写真、小説、漫画、われわれの身体などさまざまなものを指しますが、そこには人形も含まれます（なぜそういえるのかは講義の中で説明します）。メディアについて基礎的な知識を身につけるだけでなく、人間にとって身近ながら謎の多い人形という存在を通じて、様々なことを問い直すつもりです。たった15回の講義ですが、受講者のみなさんを深遠な人形の世界の入口へ、しっかりとエスコートいたします。

授業計画

第1回	導入	メディア／人形とはなにか
第2回	メディアとしての儀式、祈り	呪いの人形は現代でも有効か
第3回	メディアとしての人形劇①	ロワイヤル・ド・リュクスという巨大人形劇
第4回	メディアとしての人形劇②	人形劇としての『トイ・ストーリー』
第5回	メディアとしてのお化け屋敷	ホーンテッド・マンションと視線の戦略
第6回	メディアとしてのホラー映画①	アメリカンホラーは対岸の火事なのか
第7回	メディアとしてのホラー映画②	Jホラーにはなにが描かれているか
第8回	メディアとしての着ぐるみ	着ぐるみ身体のふしぎな魅力
第9回	メディアとしての人形愛	ぬいぐるみは捨てなければならないのか
第10回	メディアとしてのアイドル	アイドルはあやつり人形か
第11回	メディアとしてのPerfume	Perfumeよ、どこへ行く
第12回	メディアとしての子ども向けアニメ①	『クレヨンしんちゃん』と境界について
第13回	メディアとしての子ども向けアニメ②	恐怖映画としての『それいけ！アンパンマン』
第14回	メディア文化について考える特別回	ゲストをお呼びする予定
第15回	まとめ	メディア文化とは何だったのか
第16回	筆記試験	

到達目標

われわれと、人形をはじめとしたメディアの密接な関わり合いについて理解を深める。そのことを通じて、様々な文化事象に関心を持ち自ら思考する能力を身につける。

履修上の注意

能動的に講義に参加できるもの以外は受講しないこと。なお正当な理由のない遅刻者については、欠席扱いとすることがあるので注意すること。

予習復習

講義内容の理解に必要な資料は全て配布し解説をするため、原則として予習は必要ない。だが毎講義後に出す課題や、期末に実施する試験を無事乗り切るためには、担当者が言及した書籍、資料、映像作品等について各自で目を通しておくことが望ましい。

評価方法

講義内で提示される課題（50%）と期末試験（50%）にて評価する。

テキスト

特に指定しない。参照すべき資料については適宜指示する。